

ふれあい倉庫の利用について

カルチャーホールや多目的ホール等を使用される場合は、直接ふれあい倉庫にお申込みください（各ホールとも見学可）。また、町ホームページで施設の空き状況の確認や使用申請書がダウンロードができます。

<商工課>

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/kanko/>

新春臨時営業します

ポイントカード会の「新春現金つかみどり」に合わせてふれあい倉庫も臨時営業いたします。おしるこの無料サービスや特売品もご用意しておりますので、是非お立ち寄りください。

▼日時 1月2日（月）・3日（火）13時～17時

冬期間もフレッシュ野菜を販売します

真冬でもハウス内で元気に育ったグリーンアスパラやほうれん草、甘みのある越冬キャベツなど、当別の野菜を販売しています。天候により入荷できない場合もありますので、ご了承ください。

FIKAから新春のご挨拶☆

▼日時 1月2日（月）・3日（火）13時～17時

▼場所 ふれあい倉庫

▼内容 FIKA 提供！！様々な景品をご用意していますので是非お立ち寄りください。

※景品には限りがありますのでご了承ください。

▼問合せ FIKA（☎27-5388）

当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

〔1月の展示会〕

冬に楽しむ押し花二人展

▼展示者 山岸明子

▼内容 夏に育てた花で「冬景色」を描いた作品展です。

▼期間 1月6日（金）～30日（月）

<利用について> FIKAでは、ミニギャラリーに町内在住の方による作品の展示会を行っています。展示会を開いてみたい方は、ぜひお問い合わせください。

<町民ポータルサイト>

<http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

▼問合せ ふれあい倉庫（☎27-6600）

FIKA（☎27-5388） 商工課（☎23-3129）

続

町長の日記

平成23年12月19日（月）

平成23年は日本中の人々にとって忘れられない年になったのではなからうか。

未曾有の大震災から日本中の国民が立ち上がるとうとする心意気は戦後復興につぐものと思う。

そんな中で迎える平成24年は当別町でも新しい幕開けのように思う。

札幌へ行くきれいで速い電車が走るようになり、春先の雪解け水を40数年かかって、ついに完成した当別ダムに試験湛水する年になる。

今までの当別町は水道用水に余裕がなかったから北海道医療大学も井戸水を使用していたているのだが、これからは大きな企業が来ても超良質な水道水を供給する事が出来ると思う。

実は、水道には生命や生態系を考えて水質保全に関しての名称がやたらと長く32文字にもなる難しい法律が二つもあって、水道原水中にフミン質などの有機物に完璧に対応をする為にもダムの深さや集水区域の面積が出来るだけ広い方がいいが、それによって移転される農家の数が増え生活再建などの問題で長い歳月に亘って106回も開催した「ダム対策特別委員会」で英知を出し尽くした委員の殆どの方々が既に故人になられてるが、私はダムを狙ったテロ対策の事まで話し合った委員会の最後の委員長だった頃が懐かしい。

札幌市には豊平川があり、石狩市には石狩川があっても札幌や石狩が当別川から取水するのは、当別川は洪積世代と言われる大昔に海の底で硬い岩塊を崩して深い地溝が数万年もかかってでき、やがて一帯の海の水が引いてから出来た硬い石ばかりの川なので稀に見る良質な水だからと言う地質学上の理由が大きかったのである。

平成24年からは原発・震災やTPPで日本の食が重大な局面に立たされそうである。

今、日本が輸入している食糧を作る為に必要な水の量は当別ダム800個分くらいの計算になると言うから驚きだ。

秋の収穫後に当別の農家もブランド食品づくりに励んでくれたし、年末の議会では企業誘致に今までにない協力的な頼もしい発言もあった。

当別ダムの水で生産された農産物が高い評価を受け快適な電車で当別へ食を求めて来る人が増える新時代が来て欲しい。

当別町長泉亭俊考